

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年1月16日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

61, 聖書名目ずくし（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ マタイによる福音書6章8節～9節抜粋

「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存知なのだ。だから、こう祈りなさい。天におられるわたしたちの父よ。」

[おはなしとおいのり](#)

[「天の父なる神様」](#)

[熊田雄二牧師](#)

きょうから、イエスさまが教えてくださった「主の祈り」を学びます。「主の祈り」は、おとなの礼拝でいっしょにお祈りしていますね。きょうは、まず、神様への呼びかけです。「天にましますわれらの父よ」というところです。私たちは、よく、「天の父なる神様」と呼びかけてお祈りします。どうしてでしょう？ それは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださったからです。

イエス様は、ただ「こう祈りなさい」と言われたのではありません。「だから、こう祈りなさい」と言われました。「だから」とは、「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存知なのだ。だから、」ということですね。私たちのお父さんは、お願いしたら何でもくれるでしょうか。何でもしてくれるでしょうか。何でもくれる、何でもしてくれるお父さんがいるかもしれません。何もくれない、何もしてくれないお父さんがいるかもしれません。何でもくれる、何でもしてくれるお父さんの方がいいですけど、時にはいけないものをくれる、まちがったことをしてくれることもあります。「お父さん、いじめられたから仕返しをしたいんだけど」。「よし、大きなナイフをあげよう」、これは、もちろん、いけませんね。「よし、カラテの道場にかよって強くなりなさい」これもいけませんね。カラテやボクシングは、けんかのために使ったらいけないことになっています。法律でバツを受けます。道場からも破門される（やめさせられる）でしょう。

天の父なる神様は、そんな間違いはありません。「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存知なのだ」からです。必要でないものはくさいませぬし、必要でないことはしてくださいませぬ。私たちのためにならないからです。だから、ためになるものは始めから用意して与えようとしておられます。ためになることは、あらかじめ知っていて、必要な時にしてくださいませぬ。

「だから、こう祈りなさい。天におられるわたしたちの父よ。」と呼びかけなさいとイエス様が教えてくださったのは、私たちが神の子どもたちとされるからです。イエス様は神の御子でいらっしゃいますが、私たちを神の子にしてくださいます。十字架と復活で神の子にしようとしておられます。私たちは罪人のままだと、神の怒りを受けて地獄に行きます。そうならないように、天の神様はイエス様をくださいました。だから、私たちに絶対に必要なのは、神の御子のイエス様です。私たちの罪のために十字架に架かることは、神の怒りを受けて地獄に行くことですから、イエス様は大変苦しんでお祈りしました。「できることなら、そんな恐ろしい目に合わないようにしてください。でも私の思い通りではなく、神様のみこころがなるように」と。

イエス様は、私たちにいちばん必要なものは何か、ご存知でした。神様が罪人を救うために、救い主が十字架に架かる必要があることをご存知でした。だから、十字架にかかって死んで、三日目に復活されたのです。ですから、イエス様といっしょに死んで復活する人が「神の子」と呼ばれます。神の子と呼ばれる人が、「天にましますわれらの父よ」と呼びかけるのです。

祈り

天の父なる神様、私たちはイエス様によって「天の父なる神様」と呼べることを感謝します。主の祈りを教えてくださったイエス様は、自分の思い通りではなく御心になるようにと祈って、十字架に向かって行かれました。私たちも、神様の御心を知って、自分に本当に必要なことを祈ることができますように。イエス様によってお祈りします。アーメン。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

92、ワワワいっしょに (こどもさんびかをお用ください)